



どなたでも参加できます！

「ほっぷの森カレッジ」Presents

Sunday 月いちカレッジ

自由な気づきと学びの場を

「ほっぷの森カレッジ」は、障がいのある方々が、自分にあった方法で、自分の速度で、'なりたい自分' に近づいていくための場所。そんな場所だからこそ、もっと多くの皆さんに、なりたい自分や新しい自分と出会う場をつくりたい！と、毎月一回、だれでも参加できる「月いちカレッジ」を立ち上げました。どなたでも、気軽にご参加ください。

参加費無料

申し込み不要・
当日直接会場にお越しください



▲過去のカレッジの映像を
こちらからご覧いただけます

4月13日(日) 10:00~12:00

言葉の力、生きる力

～物語の中にあるロゴセラピー～

ほっぷの森カレッジ学長
NPO法人ほっぷの森副理事長

渡辺 祥子 わたなべ しょうこ

「ほっぷの森」の取り組みや運営のベースに流れる「ロゴセラピー」(精神科医 / ヴィクトール・フランクルが創設した心理療法) の考え方。今回はいくつかの物語やエッセイの朗読、さらに数々の言葉を紹介しながら、その中にある「ロゴセラピー的なまなざし」を皆さんと共有します。



フリーアナウンサー、朗読家として活動をするほか、情報誌『りらく』の編集長も務める
著書に『3.11 からのことば』、『困難を希望に変える言葉』など

5月11日(日) 10:00~12:00

ラーメン日記と失語症

～最高のリハビリ&楽しみ～

日本マクドナルド フランチャイジー
株式会社仙台にしむら マクドナルド
ザ・モール仙台長町店勤務

佐々木 学 ささきまなぶ

失語症は、聞く・話す・読む・書く・計算等の言語諸活動全般に障害を受け、上手く話せなかったりします。その為、家族や友人と一緒にいても孤独を感じることもあります。失語症は1人で異国を彷徨うような状態と表現されたりもします。失語症の私は、異国を歩む覚悟を決め、受け容れました。これまでの人との出会い、ラーメンとの出会いを聞いてください。



48歳に脳梗塞を発症、失語症となる。リハビリやトレーニングを経て、仙台にしむらでハンバーガー作りで奮闘中。ラーメン日記は目標400店！

6月22日(日) 10:00~12:00

生き生き生きる

～脳と心の育て方～

東北医科薬科大学病院高次脳機能障害支援センター高次脳機能障害支援コーディネーター

目黒 祐子 めぐろ ゆうこ

日々患者さんに接する中で、患者さんやご家族と接する中で、まず睡眠と栄養が重要であることを改めて痛感している今日この頃です。高齢化社会を生き生き生きる一つの考え方として、皆さんと「よりよく眠る=よりよく生きる」ことを一緒に考えてみたいと思います。



言語聴覚士、公認心理師、臨床神経心理士、療養・両立支援コーディネーターとして、患者さんと支援者のみならず、支援者間、異業種間のコーディネートを進めようと目下画策中

7月27日(日) 10:00~12:00

てつがく、してみる？ 3

～出会いを遣り過ごさないこと～

東北大学名誉教授・文学博士 /
放送大学客員教授

戸島 貴代志 としまきよし

七転び八起き。七回転んだら起きるのも七回でよいような気がします。でも、最初は起きているはずなので、これを入れて「八起き」「起きる」から始めて「起きる」で終わる。それほどに大切な「起きる」を、それでも〈転ばせるもの〉について、少し考えてみましょう。



専門は哲学。著書に『創造と想起』『ほんとうのことば』など
海が好き、車が好き。

ほっぷの森は障がいのある方の就労を支援している NPO 法人です。

利用者を「スタッフ」、職員を「パートナー」と呼び、本人に寄り添いながら支えることを大切に、様々な気づきや学びのプログラムの中で、自らが考え、決定し、歩み出すことを大切にしています。特に高次脳機能障害の方の就労には多くの実績があります。

主催・お問合せ 特定非営利活動法人
ほっぷの森 TEL.022-797-8801
FAX.022-797-8802
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-5 第三志ら梅ビル4階

提携駐車場はありませんので、公共の交通機関利用もしくは近隣の駐車場をご利用ください。



ほっぷの森カレッジって、どんなところ？



自立訓練（生活訓練）と就労移行支援を組み合わせることで、より自由度の高い就労支援体制をつくりました。教養課程・専門課程のある4年制大学になぞらえ、「ほっぷの森カレッジ」と名づけました。



なりたい
自分への道は
ひとつじゃない



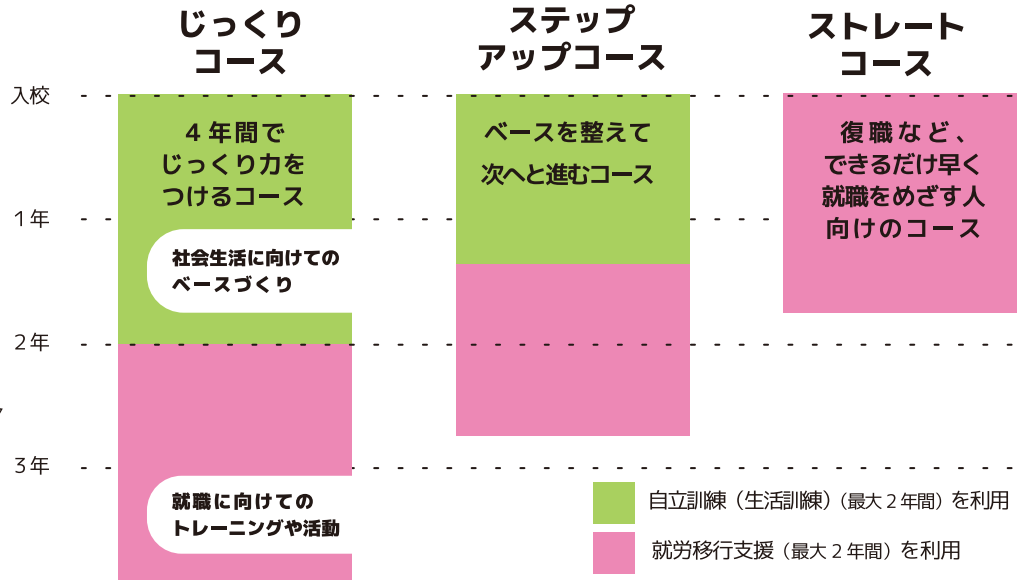
ほっぷの森カレッジだからできるこんな使い方

自立訓練（生活訓練）と就労移行支援を組み合わせることで自分の速度で力をつけていけるしくみをつくりました。自分の状況にあったところからはじめられます。

自分の力を引き出せる
学び方を選べるんだね



例えば



自立訓練（生活訓練）事業 あぽかぼ 就労準備支援センター



日々のプログラムに参加しながら生活リズムを整え、自分が出来ること、やりたいことを見つけていきます。

- 生活トレーニング
- グループ活動
- 表現のプログラム
- 移動トレーニング
- 運動プログラム
- 脳トレ

就労移行支援事業 ほっぷ 就労支援センター



さまざまなプログラムを通してスキルアップを目指し、2年間の期間内で一般就労を目指します。

- 自己管理能力
- 健康・体力
- 模擬面接
- 職業講話
- 表現力
- 応募書類作成
- ビジネスマナー
- 企業訪問

あぽかぼ・ほっぷは、ほっぷの森（第三志ら梅ビル4階）内にあります。お気軽にお問い合わせ下さい。

特定非営利活動法人 ほっぷの森 各事業所

詳しくはこちらをご覧ください▶



<相談支援事業> 相談支援センターほっぷの木

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-5
第三志ら梅ビル4階
TEL.022-208-8880 FAX.022-797-8802



<就労定着支援事業> 就労定着支援センターほっぷの実

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-5
第三志ら梅ビル4階
TEL.022-797-8801 FAX.022-797-8802



<就労継続支援事業 A 型> TFU Cafeteria Olive

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26
東北福祉大学仙台駅東口キャンパス1階
TEL.022-762-7827 FAX.022-762-7828



<就労継続支援事業 A 型> びすた〜り榴ヶ岡

〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡 5 番地
みやぎ NPO プラザ1階
TEL&FAX.022-299-2888



<就労継続支援事業 B 型> びすた〜りフードマーケット

〒982-0011 仙台市太白区長町 1-2-8
TEL.022-738-7231 FAX.022-738-7232



<就労継続支援事業 B 型> cafe Jho Jho (かふえじょじょ)

〒982-0011 仙台市太白区長町 3-7-26 長町病院1階
TEL.022-796-1061 FAX.022-796-1062

